

市民参加部会 センターイメージチェンジ事業ご提案書

南山

事業目的	フェイス5F 市民活動サポートセンターのイメージチェンジ
事業期間	令和4年度～5年度
実施場所	市民活動サポートセンター
担当	部会全員(海老田、柴田、谷合、南山、依田)※敬称略

10/13 部会決定事項

- ・双方向掲示板(仮称:ウィッシュツリー)の設置を市民活動フェアに合わせて準備する
 - ・まずは小規模で取り組んでみて、都度検証・改善しながら取り組みを進めていく
 - ・ウィッシュツリーは可動式のボードを利用、センター入り口付近の市役所窓口来訪者からも見えやすい場所に設置する
- ※ガラスは貼り付け不可(ビル管理組合より)

1.目的:一般市民が気軽に立ち寄れるセンターへ

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてだと入りにくい ・何ができる場所なのか外からわかりにくい
解決	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代、多様な市民が入りやすい雰囲気づくり ・「市民活動」に興味を持ってもらえるきっかけづくり

<人が多く集まる場所のポイント>

- 何ができる場所なのかわかりやすい(大義名分がある)
- 参加したくなる(自分ごととしてとらえやすい)
- 明るく入りやすい(歓迎されている雰囲気)

2.ターゲット

- ・市役所窓口に来訪した方(来訪者データなど確認中)
- ・自分の暮らすまちで何かやってみたいと漠然と思っているがきっかけがない方
- ・すでに市民活動をしているがセンターを利用していない方(登録団体の利用率、平均年齢等確認中)

3.事業の内容

① 双方向性の実現	・センター・団体からの発信だけではなく、一般市民も参加できる
② 入りやすい雰囲気づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい窓、吹き抜けを生かしたレイアウト ・一歩目を生む導線作成
③ ユニバーサル化	・若者からシニア層まで、子連れや車いすの方でも利用できる

4.事業内容の詳細

①双方向性の実現:市民参加型アート掲示板

- ・「やってみたいこと」「こんなまちになったらいいな」「船橋のここが好き」などを来訪者が記入&貼り付ける「ウィッシュツリー(仮)」
- 将来的に三番瀬の海をテーマにした掲示を目指す
- ・まちのみんなの声の見える化
- ・アンケート、ご意見ボードではなく、前向きな意見を集める場
- ・市役所窓口来訪者から見えやすい場所に可動式で設置
- ・別途「やってみたいこと発表会(仮)」を開催、参加者の中から選ばれたプロジェクトを市民交流参加事業で実現

(参考)フューチャーセンターならしの「はじめるはじまる展」より



②入りやすい雰囲気づくり:窓や壁を使った装飾、掲示物の見直し

- ・入り口付近の掲示物の見直し(誰が、何をできる場所なのかぱっと見で分かるように)
- ・吹き抜け空間や大きな窓を生かして、より明るい雰囲気を目指した装飾等
- ・一步目を生む導線作成(ウィッシュツリー、ふなばしセレクション、市民のハンドメイド作品陳列など)

③ユニバーサル化:キッズスペースの設置の検討、センター内動線の点検

- ・子連れでも利用できるセンターを目指し、キッズスペース設置へ向けた検討を進める(乳児向け:マットエリア、幼児向け:子ども用テーブル&いすエリア)
- ・既存の通路幅、危険物の有無など車いすやベビーカーを想定した再点検
- ・小さな子どもを連れていても安心して利用できることを取っ掛かりとして、どんな人でも利用できる、開かれたセンターを目指す



5.事業実施にかかる費用(概算)

①双方向性の実現	色画用紙、セロファン、マスキングテープ、ペンなどの材料費 5,000~10,000 円程度
②入りやすい雰囲気づくり	・上記に加えて、ラミネートフィルム、風船など 3,000~5,000 円程度 ・ふなばしセレクション陳列する場合は別途陳列棚?
③ユニバーサル化	・キッズテーブル 10,000 円×1~2 台、キッズチェア 3,000 円×2~4 台を想定 ・牛乳パック椅子など創作する場合は材料費 1,500 円×2~4 台 ・フロアマット・コーナーブロック 40,000 円程度~

6.事業実施により想定される効果

①双方向性の実現	・市役所窓口に来訪した人がセンターに興味を持つきっかけとなる ・市民活動を「自分ごと」と捉えるきっかけ作りにより、身近な一歩から、できることを持ち寄る市民参加の機運を高め、センターの活性化につなげる
②入りやすい雰囲気づくり	・来所のハードルを下げる
③ユニバーサル化	・子連れであることを理由にセンターを利用できなかった市民活動団体の利用率アップ ・多世代が利用することによるセンターの活性化、利用者同士の交流の促進 ・幅広い年齢層、より多様な属性の市民が利用できる場所であることのアピールによるイメージアップ

7.事業実施に向けた課題と解決

①双方向性の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・いたずら →入口付近の人目に付きやすい場所で実施する →ポジティブな発信の場となる方向づけ(cf.ナッジ理論) →必要ならご意見箱を別途設置してすみ分け ・書き込み用の紙やセロファンなどの管理 →センターと相談
②入りやすい雰囲気づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・制作材料管理、メンテナンス →まずはごく小規模で始めてみて、負担にならない範囲をセンターと相談しながら模索する
③ユニバーサル化	<ul style="list-style-type: none"> ・子連れ来訪者の増加による賑やかさ →市民誰でも利用できる場であることを既存の利用者に、子どもの遊び場ではなく打ち合わせや作業のためのスペースであることを子連れ来訪者にそれぞれ周知徹底し、共存へ向けた理解を求める →抵抗・懸念の少ない範囲でできることから実行していく ・子どもの転倒、備品の破損などのトラブル →子どもは保護者の責任の元でセンターを利用する旨周知徹底 →ある程度は想定内とし、大きな事故につながらないように場づくりをする →安全面は専門家目線で監修(子育て支援センター、児童ホームなどと協働) →実際の運用方法はセンターと相談(優先タイムの設定、エリア分けなど) ・費用 →できることから着手していく(まずは子連れでも利用できる雰囲気づくりが大切) →お子さんが大きくなった家庭からの寄付や手作り品などを活用する ・視覚や聴覚に障がいがある方の利用は依然としてハードルが高いか? →

8.事業実施に向けたスケジュール

	令和4年度						令和5年度					
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
①双方向性の実現	実施へ向けた検討・準備			アート設置		検証、改善		アート設置		プレゼン		企画実現へ
②入りやすい雰囲気づくり	実施へ向けた検討		できることから着手									
③ユニバーサル化	潜在ニーズ調査・実施へ向けた検討					できることから着手						

市民活動フェア

以上

市民参加部会 発信力向上事業ご提案書

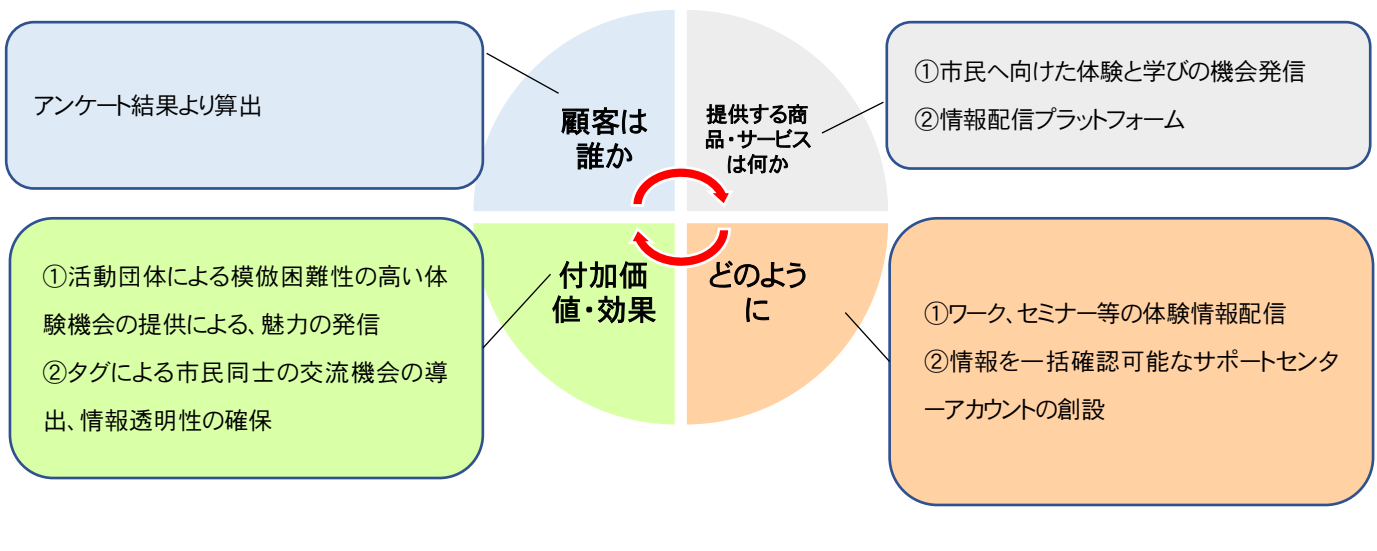
海老田委員 南山委員

事業目的	フェイス5F 市民活動サポートセンターの認知向上
事業期間	令和4年度～5年度
実施場所	市民活動サポートセンター
担当	南山委員、海老田委員
主な変更点	SNSのみに絞った提案内容へ修正を図った

1. 発信力向上事業の目的

本事業立案の背景は下記課題の解決であり、解決のための施策を実施する。

課題	市民活動サポートセンターの認知度不足(2.ターゲットが感じる参加への課題へ記載)
解決	SNSアカウントの構築(ターゲット目線での体験レポや団体紹介等、5.事業内容の詳細②へ記載)



1. ターゲットの算出

広報部会へアンケートを依頼し、回答からターゲットを選定、強みと弱みを把握する。

アンケート例)

対象: 船橋市民

- ①: 市民活動サポートセンターをご利用された経験はございますか?
- ②: ①で「はい」とお答えの方、市民活動サポートセンターを利用される理由、魅力をお聞かせいただけませんか?
- ③: ①で「いいえ」とお答えの方、市民活動サポートセンターの利用に及ばない理由、ネックとなる部分があればお聞かせいただけませんか?
- ④: ご回答者様の年齢層をお聞かせください。「20代以下、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上」
- ⑤: ご回答者様の性別をお聞かせください。「男性、女性、その他」

2. 本事業の内容

① 魅力度の発信	コンテンツの配信: 体験と学びの機会を魅力と捉え、情報配信を目指す。主なコンテンツは市民交流事業および、団体交流事業の事業内容となる。
② 発信機能の構築	SNS アカウントの開設: SNS アカウント3点を広報部会と構築し総合的な発信を行う。ハッシュタグを備えただけでは発信に繋がらず、SNS フォトコン等の企画と絡めスポットとしての価値を高める。

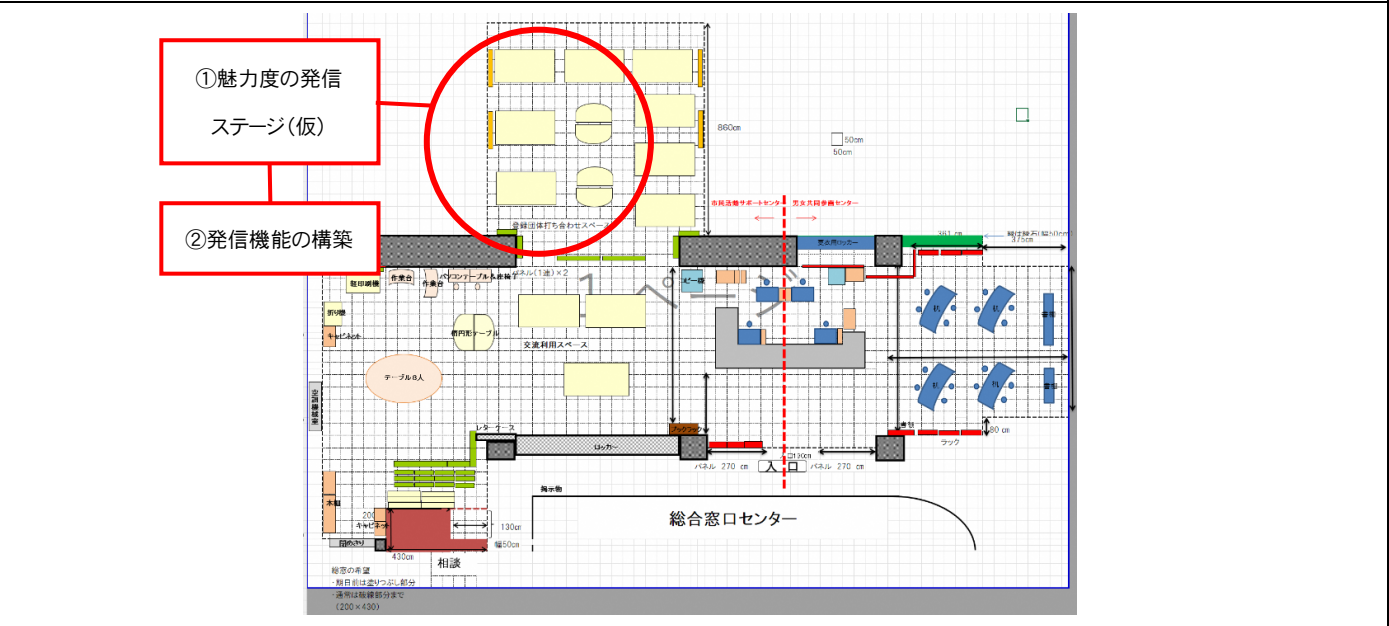




サポセンアカウントはFB フォロワー数が多い傾向にある
→活動団体のFB 利用率が高いと推測



3. 実施予定箇所



4. 事業内容の詳細

① 魅力度の発信

コンテンツの中心は広報取材+市民交流および団体交流のコンテンツとなるため割愛。
 森委員からご質問のあった「マッチングシステム」は「GBER」を提案。
 柏市にてGBERを運営していたSFL(セカンドライフファクトリー)より、効果が薄既に廃止した旨をお聞きした。
 新設される市民力発見サイトに同様システムがあるなら不要となる。(9.事業実施に向けた課題と解決に記載)

<p>札幌市市民活動サポートセンター 9月23日 17:09</p> <p>活動団体の紹介(1 団体毎)</p> <p>～「しみさばマルシェ2022」出展団体紹介!! part5～ しみさばマルシェ2022に出展する 団体さんを随時紹介していきます... もっと見る</p>	<p>特定非営利活動法人 道産子ヒーロー プロジェクト</p>	<p>まつど市民活動サポートセンター 7月23日</p> <p>来週土曜日のよろず講座、まだまだ参加者募集中です！ 少人数より色々な属性の方が集まるともっと面白くなるゲームですので、ぜひお時間が合う方はご参加ください～！</p> <p>★申込フォーム https://forms.gle/zV4YmBccFCpQ2jis6</p>	<p>ワークショップ情報の提供+申込</p>

②発信機能の構築…SNS アカウントの創設

(ア) SNS アカウントの構築

FaceBook, Twitter, Instagram のアカウントを開設し、①の内容配信を行う。

市民活動サポートセンターの紹介およびURLはトップに固定し、新規顧客への情報提供を行う。

魅力的な特色の定まっていない現状では、フォトコン等の開催により優秀作品の紹介ならびに特産品景品の贈呈にて、フォロー数を増やす仕掛けを取り込む。優秀作品をポスター展示等に活用するなど、良質な素材収集も可能となる。

	<p>子どもたちの提案で実現しました！</p> <p>フォトコンテストを開催したい(飯山湖中)</p> <p>写真を通じて飯山の魅力を発信する「ふなばし魅力発見フォトコンテスト」を開催。入賞作品で作成したポストカードは大好評でした。</p> <p>□入賞作品は市ホームページ(右コード)からご覧いただけます。</p> <p>伝統文化をPRしたい(前原中)</p> <p>指定のスポットで写真を撮影するフォトラリーを通して、市内の歴史・文化財の展示施設を知ることで、多くの皆さんにその魅力を感じてもらいました。</p> <p>□これまでの選定は市ホームページ(右コード)から見られます。</p>	<p>ふなばし魅力発見フォトコンテスト</p> <p>「ふなばし魅力発見フォトコンテスト」を開催しました。「私の“推し”ふなばし」をテーマに4月～5月に作品を募集し、応募総数300作品の中から市内在住のイラストレーターに審査を行っていただき、入賞6作品を決定、7月に入賞者の表彰式を行いました。</p> <p>既存コンテストにサポセン部門を創設等</p>
--	--	---

(イ) 親しみやすさの構築…マスコットキャラ化

「市民活動サポートセンター運営委員会」という名称アカウントでは固い印象与えてしまう。

「マスコットキャラクター」による SNSアカウント構築を模索。

市民公募によりマスコットを募り、最初期の段階から市民との協業状態へ。

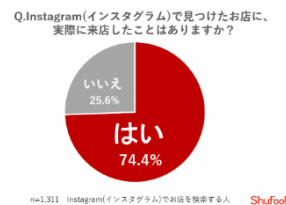
審査方法は審査委員会を設置するか、市民全体の投票にするか検討。

全体投票の場合は投票システムが必要。

<p>奮ってご応募ください！</p> <p>中野の土地柄、歴史、環境、習俗など、中野の文化にふさわしい新しいキャラクターとして、大勢の方々に愛されるデザインを募集します。</p> <p>東京中野ライオンズクラブ創立50周年記念事業</p> <p>中野ゆるキャラコンペ</p> <p>NAKANO 50th anniversary</p>	<p>住宅ポータルサイト「シガタク」</p> <p>SHIGA-TAKU</p> <p>マスコットキャラクター応募 作品コンテスト</p> <p>応募期間 2021 4/26 - 5/23 24:00まで</p> <p>プロ・アマ問わず お子さまのご参加も大歓迎です！</p>	<p>ゆるき全開！</p> <p>キッズ人気ナンバーワン</p> <p>総選挙</p> <p>ネット投票</p> <p>1月20日まで</p> <p>ゆるキャラ</p> <p>女子学生生支持率トップ！</p> <p>全世代安定の人気</p>
--	--	--

5. 事業実施にかかる費用(概算)	
①魅力度の発信	執筆者への報酬が発生する場合、その代金
②発信機能の構築	フォトコン開催を開催する場合、その景品代金

6. 事業実施により想定される効果	
①魅力度の発信	<p>「SNS で見たことある」といった、手中から離れた広報効果を生む。</p> <p>「市民活動サポートセンター」の場所と名前の認知を向上させる。</p> <p>見たことある場所への来店率は 74.4%と極めて高い。</p>
②発信機能の構築	<p>前提としてフォロワーが行動を移すのは、0.5～1 年経過後となり、効果計測のためコンテンツ発信を行いながらフォロワーの収集に取り組む。よって効果はフォロワーの獲得である。</p>



7. 事業実施に向けた課題と解決	
①魅力度の発信	SNSアカウント創設が可能であるかの確認→外部の立て付けであれば OK「委員会かマスコット」サポートセンターの魅力がどこにあるか、既存団体へのアンケートを依頼。
②発信機能の構築	他部会や事業と競合してしまった場合、利用者の分散につながり、悪化させる可能性が高い。発見サイト等のコンテンツや広報部会SNSアカウントがどのようになるか情報を得る必要あり。
③投票システム	マスコットの審査にあたっての集計方法、審査員の選定が必要。

8. 事業実施に向けたスケジュール												
	令和 4 年度						令和 5 年度					
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
①魅力度の発信			→									
②発信機能の構築			→									

市民活動フェア

9. 効果の測定方法 (WordStream 分析結果より)			
本事業では試験的に FaceBook、Twitter、Instagram のアカウントを並行活用する。			
評価項目を下記に策定し、5 年後の効果値により継続および中止判断を行う。			
		ターゲットのn%	
内容	評価項目	評価基準	目標
アカウントの健全性	各 SNS アカウント毎のフォロワー数	A:2,000 以上 B:1,000 以上 C:500 未満	A

10. 事業実施の暫定担当者(主、補)	
①魅力度の発信	海老田委員、南山委員→発見サイト、広報部、市民交流事業、団体交流部と連動
②発信機能の構築	南山委員、海老田委員→発見サイト、広報部、市民交流事業、団体交流部と連動

以上

市民交流参加事業 提案書 (概略)

2022年度～2023年度 市民参加部会

2022年9月7日

市民交流参加事業担当

依田いづみ

市民交流参加事業 3つの提案

サポートセンターに

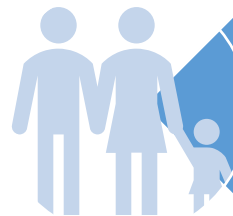
- ・気軽に足を運んでもらうために
- ・より市民に近い場所になるために



交流サロンの実施



市民の声の実現の場



外部専門家の講演・ワークショップ

1. 交流サロンの実施 (場をつくる)

目的：つなぐ

市民活動関連の連携の動きをさらに進めるために
定期的に交流サロンを実施する

例；

- ・市民活動フェア 交流会 ⇒ 月1回、交流の場をふやす
- ・市民活動フェア パフォーマンス ⇒ ステージを提供する
- ・市民大学校・フェア マッチング会 ⇒
オープンマッチング会（市民にも見てもらう）
各団体ができること、サポートしてもらいたいことを書いてア
ピールする

2. 市民の声 実現の場を提供する

目的：楽しい

身近に感じてもらう、興味をもってもらう

“市民の声の木“に集まったさまざまな想い、希望を実現できる場を提供する

例；

- ・ こどもから解放されたい⇒読み聞かせ1時間の会を開いて
子供の面倒を見る
- ・ 自分の特技をみんなに見せたい⇒ステージを設定する
手品、けん玉、朗読、ものまね???

3. 外部専門家の講演・ワークショップ

目的：Well-being（よりよく生きるために）

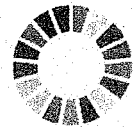
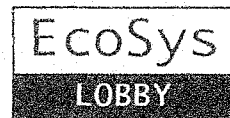
座学だけでなく、市民の啓発、市民の交流の場となるデザインをする。足を運んでもらう。

例；

- ・教える・コーチング、アドラー心理学など 向後千春先生
- ・子供の英語教育、市民間の異文化交流など 西蔭浩子先生
- ・童話を読むときはこんな風に読んでみたら 間中和代さん
- ・地域災害、防災の重要性など 鈴木まり子先生

国連THE GLOBAL GOALS研修 市民／中小事業者向け 理解度向上研修の提案

柴田良一



We support the Sustainable Development Goals

いーらぼSDGs推進コミッティ

令和4年秋(2022.10.16.更新)

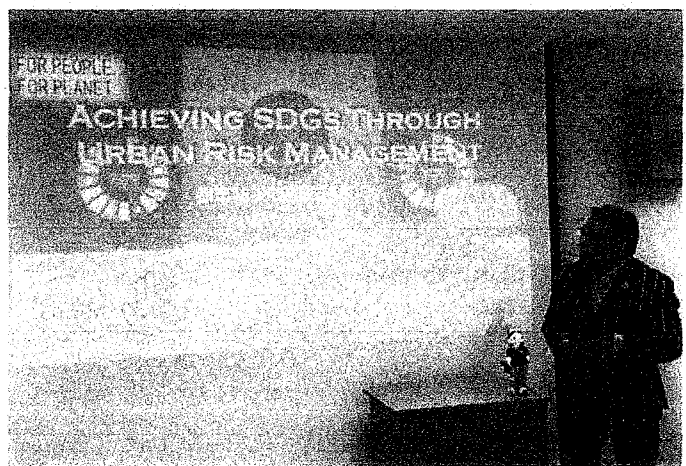
国連開発目標の深く正しい理解

SDGs認知度調査結果

消費者調査70%超
(朝日新聞：2022)

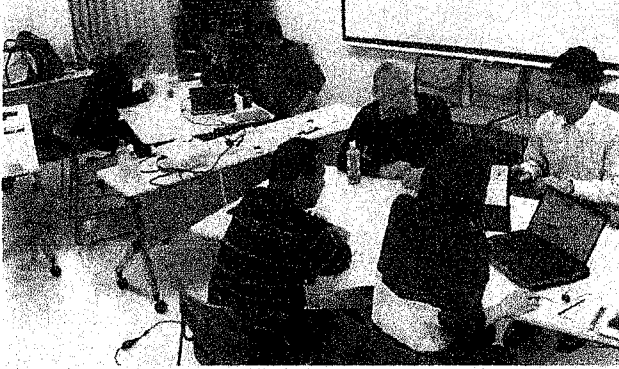
企業取組み調査90%超
(東証プライム：2022)

しかしながら上滑りな活動も多く
「なんちゃってSDGs：偽装SDGsで
はとの批判もある。このままあと7年
はやり過ぎせない。なので深層理解
は必須」(国連関連有識者)



資料映像：提供 @いーらぼSDGs推進Committee
「SDGs国際(米/豪/日本)会議2019を振り返って」
講師 平田耕一エコシスLOBBYひらた事務所

いーらぼ学習会の活動



資料映像：提供 @いーらぼSDGs推進Committee
学習会自由討論の様子（コロナ禍前）
於：聖蹟桜ヶ丘京王電鉄社員クラブ会議室にて

代表（柴田良一）のもとに集まった環境系有資格者数十名と学識有識者で環境・SDGs・環境金融ESGのテーマ毎に勉強会を月例実施（2018年4月から通算50回）

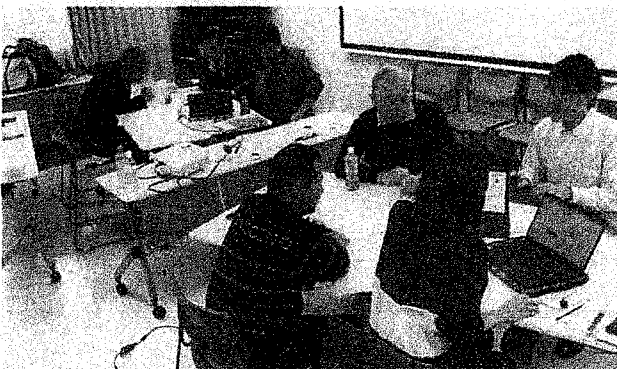
形式は座学と映画鑑賞／現地視察

少人数グループ討議とまとめ発表

討議方式はワールドカフェ方式

2

自由討論ワールドカフェの特徴



資料映像：提供 @いーらぼSDGs推進Committee
学習会自由討論の様子（コロナ禍前）
於：聖蹟桜ヶ丘京王電鉄社員クラブ会議室にて

3名から6名を1組でグループ討議し、まとめ役が発表

各自ポストイットへメモ書き

メモ書きを読み上げながら自由討議

同じ項目を島分けし、模造紙に貼付け

全体のストーリーを考えて発表

テーマ提案者と学識有識者による講評

参加者全員が難しかった点や感想...を

...振り返り懇親会（新型コロナ禍前）

3

企業団体におけるSDGS課題整理

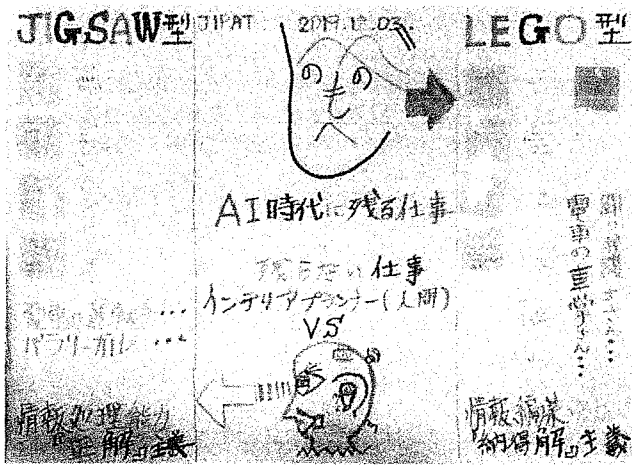
上滑りなSDGs活動を深掘りし銀行投資家／選択眼のある消費者への訴求力を強じん化していく事が必要。

深耕手法としていーらぼ学習会の手法（ワールドカフェ方式）による企業内研修の事例もある。



資料映像：一社）日本インテリアプランナー協会（東京）
『組織JIPATが成し得るSDGsとESG投資への到達』
講師 平田耕一エコシスLOBBYひらた事務所
ワークショップ進行@いーらぼSDGs推進Committee

AI時代に対応する人材あるべき姿



資料映像：一社）東京インテリアプランナー協会
『AI社会で協会会員が勝ち組になるためには』
講師 平田耕一エコシスLOBBYひらた事務所
ワークショップ進行@いーらぼSDGs推進Committee

自由討論の手法はSDGs以外のテーマにても適用可能。

例えば「AI時代にコンピューターに奪われる仕事と奪われずに人間にしかできない仕事」を題材に研修も可能...
電車自動運転と車掌の役割分担～運転手はロボットでも車掌は人間でないといけない...

所要時間は90分から120分

必要品はポストイット、模造紙、カラーペン、セロハンテープ等

SDGS子ども教育イベント：事例

子どもたちはSDGsをもう学んでいる！おとなと企業は追いつかないと！

SDGs教育は、文科省の教育課程にも組み込まれ、夏休みの自由研究や特別授業の試行も行われている。

それを受けて、小中学生を対象としたNPO民間組織による"寺子屋勉強会"の事例も多くある。



資料映像：提供 E-parkめぐもり子ども寺子屋

『SDGsテーマと大判（廃棄される写真スタジオ背景紙の再利用）カラーシートへのお絵描き』

6

SDGS普及啓発アーティスト：事例



資料映像：提供 VagueFoyer 「ヴェイグ・ホワイエ」
テーマ：心で描く"折り"のアクリル画
アーティスト 平田彬人（ひらたあきと）

VagueFoyer：人々が集まる心地よい場所（仏語）

SDGsの事務総長スローガン
"私たちは誰も取り残さない"
を実現する芸術界の活動

SDGsの"差別や対立のない時代へ"のかけ声に呼応し、若手アーティストによるテーマ絵画のライブ描画や来場者とのコラボレーションによる"プロと子どもたちの寄せ書き描画"イベント（品川区Xmasイベント2022.12.9~11@EASE/E-park）も企画されている。

7

SDGS/ESG等の相互理解整理整頓

株主向け広報や専門誌は言うに及ばず、五大新聞においてもSDGs、ESG投資、企業の社会貢献"の情報は多くある。

とはいえ、それぞれの項目の関連性までは踏み込んでいないので、実際の実務には相互の知識/整理・整頓が必須であるも、学ぶ機会がない。

いーらぼ学習会は、専門家集団として相互補完のマッピング研修を企業むけに実施。政府機関に対しても適宜、提案をしている。



資料映像：提供 @いーらぼSDGs推進Committee 『SDGs17目標とESG投資の格付け項目の相関図』
講師 平田耕一エコシスLOBBYひらた事務所

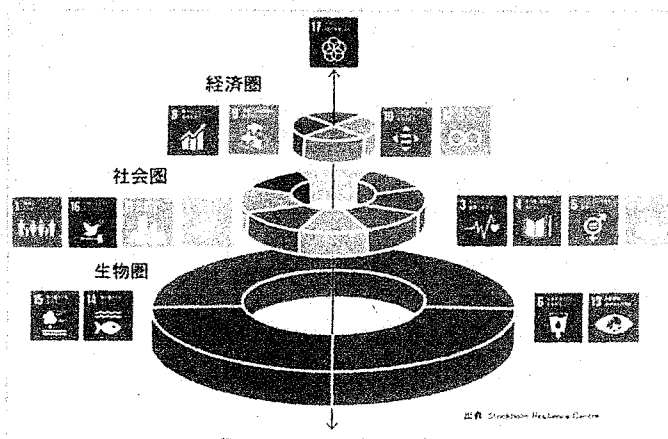
SDGS学習カリキュラムの提案

本提案はいーらぼ学習会のエッセンスを数回から十数回の催事に分割して行う。

対象は企業、消費者、子どもたちの全方位とする。

企業の活動と消費者への啓発、子どもたちの自由研究への支援を目的とする。

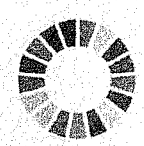
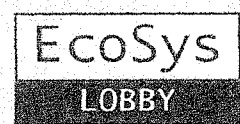
カリキュラムの回数の組み立ては、SDGsウェディングケーキの三段分類で行う。(最低3回~最高は19回)



資料映像：提供 国連広報センター 『SDGs目標17パネルのウェディングケーキ分類』
一段目をきちんと行って二段目、そして最上段の三段目を実施しないと意味がない...

国連持続可能な開発目標への取り組みには脱炭素施策も含まれています。SDGSの全方位の学習の機会を船橋市民／在所企業・NPOなどの団体に提供すべく、提案をいたしました。

柴田良一



We support the Sustainable Development Goals

いーらぽSDGs推進コミッティ